

NETIS登録番号	技術名称	ラップハング			
QS-070020-A	副題	連結材を使用しない連節護岸工法			
分類1	河川海岸	多自然型護岸工	ブロック積(張)工	キーワード: 環境、コスト縮減、生産性の向上、水中施工、締切不要、金具不要	
分類2					
開発目標	省人化、省力化、経済性の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	共和コンクリート工業 株式会社		TEL	092-262-5755
	住所	福岡県福岡市博多区店屋町8番24号 九勸呉服町ビル4階		E-MAIL	takahashi.h
	担当者	高橋 秀徳			@kyowa-concrete.co.jp
実績件数 H26.8.31現在	国土交通省	その他の公共機関	民間等		
	17件	11件	0件		

技術概要:(300字以内)

- ・河川護岸の法覆工を構築するもので、仮締切りを必要としない水中施工にも対応する技術である。
- ・ブロック相互の噛み合わせ面積を大きくし、強固なヒンジ構造となっているので、連結金具を使用しないで施工できる。

新規性

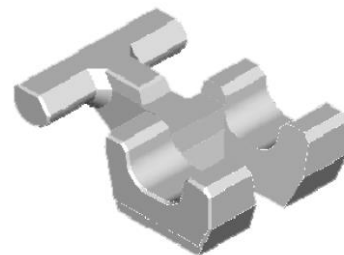
- ・ヒンジ構造による噛み合わせ連結構造なため、連結金具が不要である。
- ・ブロック間に、客土や詰石を行える空間がある。
- ・水中施工が可能のため、仮締め切りが不要となる。

期待される効果

- ・連結金具の取付等にかかる作業を削減できる。
- ・汽水域等においても、金具の腐食による強度不足の心配がない。
- ・客土や詰石を行える空間(空隙率45%~53%)が大きいため、法面の緑化や樹木の保全が期待できる。

留意事項

- ・河川護岸の法覆工として使用する場合は、流体力に対する安定性の照査を行う。
- ・背面土砂の流出を防止するため、吸出防止材の設置を必ず行う。
- ・平水位以下の中詰には、栗石等を計上する。



ラップハング II 型

施工単価

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
労務費	機械賃料含む	1	m2	531	531	
材料費	ブロック代	1	m2	16,714	16,714	吸出防止材含む
副材料費	ユニット組立・吸出防止材設置	1	m2	1,811	1,811	
諸雑費	-	1	式	4	4	
合計					19,060	1m2あたり

施工方法

- ① 法面整形を行う。
水中施工の場合、必要に応じて汚濁拡散防止フェンスを用いる。
- ② 陸上で、ブロック5個と吸出防止材をユニット化する。
- ③ 潜水士の誘導により、天端部から所定の位置に②を据え付ける。
- ④ 必要に応じて、中詰土砂または栗石等を詰める。
- ⑤ 出来形を確認し、完了。

